

愛知県
浅野デンタルアート
浅野正司

演題

「CAD/CAM と共に進化する歯科技工」

副題

～CAD/CAM 補綴物製作に欠かせない、歯科技工士の技術と知識～

抄録

CAD/CAM を利用した補綴物製作が一般に知られるようになってから、10 年以上の月日が経過している。その後 IT 産業の発展と共にマテリアルを含むシステムの目覚ましい進化は、世界規模で、年々加速度を増しているように感じられる。

わが国でも多くの CAD/CAM メーカーからバージョンアップも含め最新のシステムがリリースされており、近年では補綴物製作の一翼を担うとの認識も深まっているところである。

また、世界の潮流に押される形で、各社システムのオープン化が進んでおり、補綴様式によるシステムの選択度が広がり、使用感の向上が期待できる状況が進んでいる。

システムの進化と共に、マテリアルの種類も飛躍的に増えているが、審美補綴治療では CAD/CAM の使用が一般的になった当初のアルミナから、ジルコニアにその中心は移ってきている。これはジルコニアの優れた物性、術者取り扱いやすさと共に、昨今の貴金属価格の高騰も少なからず影響を与えていると考えられる。

これらの事から CAD/CAM システムによるジルコニアクラウンやブリッジの需要は今後も右肩上がりに伸びていくことが予想される。

しかし、使用されるマテリアルの特異性や、CAD/CAM 製作方法の理解不足が原因と思われる破折や破損などの事故も少なからず報告されている。

最新のシステムの紹介と共に、責任ある補綴物の製作には歯科技工士知識と技術が不可欠であることが解ってきている。

技工物製作前準備段階から、フレームのデザインや調製方法などの注意点、焼き付けから研磨までの一連の手順を検証し、近未来の CAD/CAM 技工物の製作方法を考えてみたい。

《略歴》

- 1960・12月 愛知県出身
- 1982・3月 名古屋デンタル技工士学院卒業
- 1982・4月 技工士免許取得
- 1989・5月 浅野デンタル・アート開設。
- 1999・12月 (社)日本歯科技工士会認定講師 拝命
- 2000・4月 東海歯科医療専門学校非常勤講師 拝命
- 2001・4月 (株)松風 テクニカルアドバイザー 拝命
- 2003・5月 あさの☆塾 開塾
- 2006・3月 名古屋市立大学大学院 システム自然科学研究科修了。修士取得
- 2008・7月より 「Science of CAD/CAM All Ceramics」
～臨床家のためのジルコニアクラウン製作法～ 歯科技工(医歯薬出版)
連載中
- 2012・10月 Master Ceramist School「CAD/CAM Course」特別講師拝命

この他、学術発表、掲載論文多数、大学院在学中には、第28回日本分子生物学会、第75回日本動物学会でも発表

現在に至る